

## <腎センター外科>

### 一般（教育）目標

腎不全外科として、腎代替療法を行う上での外科治療全般を理解する。また、腎不全患者特有の病態をふまえた周術期管理および手術を理解・習得する

### （具体的）行動目標

- (1) 末期腎不全患者の病態を理解したうえで、入院患者の全身評価を行い、適切な管理ができる
- (2) 腎代替療法としての、腎移植、血液透析、腹膜透析の3つの選択枝につきそれぞれの長所と短所を理解する
- (3) 腎移植において行われる、免疫抑制療法および起こりうる合併症につき理解する
- (4) 以下の手術患者の周術期管理と、標準術式を理解し手術助手を務めることができる
  - (ア) 内シャント設置術（自己血管、人工血管）
  - (イ) 経皮的血管形成術(PTA)
  - (ウ) 腹膜透析カテーテル挿入術
  - (エ) 腹膜透析カテーテル抜去術
  - (オ) 同種死体腎移植術
  - (カ) 生体腎移植術
  - (キ) 腹腔鏡下移植用腎採取術
  - (ク) 腎摘出術
  - (ケ) 副甲状腺摘出術、部分自家移植術
  - (コ) 移植腎生検
- (5) 以下の外科手技につき適切に行うことができる
  - (ア) 組織縫合、縫合糸結紮
  - (イ) 真皮埋没縫合
  - (ウ) 創部の評価、ドレッシング
  - (エ) ドレーン管理
  - (オ) 透析用動静脈ろう（シャント）への穿刺
  - (カ) 透析用動静脈ろう（シャント）穿刺部の止血
  - (キ) 末梢血管縫合
- (6) (4)にあげた手術患者および、腎移植後の免疫抑制療法中に起きる疾患のために入院した患者につき、症例のプレゼンテーションと討論ができる

### 学習方略(1)

- (1) 上級医の指導の下で入院患者の診療を行う
- (2) 部長回診に参加し、症例提示を行う
- (3) 上級医の指導により、入院患者の検査を行いその結果を評価する
- (4) 入院患者の経過、問題点を把握し、入院サマリーを作成する

### 学習方略(2) 勉強会・カンファレンス・学会など

- (1) カンファレンスにて入院患者の症例提示を行う
- (2) 腎移植勉強会、腎センター抄読会に参加する
- (3) 興味を持った症例、疾患に関して上級医の指導の下学習し、学術集会への参加に役立てる

### EV 評価

PG-EPOC による評価方法（研修医⇔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力すること